2022年12月4日 アドベント第2聖日

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後 報告 奏 感謝祈祷	祝 禱	頌 栄	献 金	賛 美	説 教	聖 書 朗 読	使 徒 信 条	礼 拝 祈 禱	交 読	主 の 祈 り	賛 美	賛 美	「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン	招 詞	前 奏	12月4日 アドベント第2聖日
			聖歌376	久しく待ちにし (1、2、4)	ザカリヤとエリサベツ 荻野泰弘牧師	ルカの福音書 1章5〜25節		詩篇4篇1〜8節			Christmas is a time to love (1節を2回歌う)	たがいに喜び(1、2、4)	イザヤ書49章13節			

■たがいに喜び(1、2、4節)(聖歌76)

①たがいに喜び すごせこの日 悩める民をば 救うために
み子なるキリスト あまくだりぬ

※ああ うれしく 楽しきおとずれ ああ なぐさめのおとずれ

②羊を守れる まきびにも あめなるつかいは もたらしけり
世にもたぐいなき よき訪れ

④たがいに親しみ すごせこの日 み神の愛をば 歌えともに
主にある兄弟姉妹たちよ

■Cristmas is a time to love(1節を2回歌う) ★→①→★→①→★

★クリスマス 神様の愛の贈り物 クリスマス 神様の愛の贈り物

①おもいえがいた いろんなこと うまくいなくっても

おもいだしてね クリスマスは 愛の贈り物

★おりかえし

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御國をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇4篇1節～8節

- 1 私が呼ぶとき 答えてください。
私の義なる神。
追いつめられたとき
あなたは私を解き放ってくださいました。
私をあわれみ 私の祈りを聞いてください。
- 2 人の子たちよ いつまで私の栄光を辱め（はずかしめ）
空（むな）しいものを愛し
偽（いつわ）りを慕い求めるのか。
- 3 知れ。主はご自分の聖徒を特別に扱われるのだ。
私が呼ぶとき主は聞いてくださる。
- 4 震え わななけ。罪を犯すな。
心の中で語り 床（とこ）の上で静まれ。
- 5 義のいけにえを献げ
主に抛り頼め。
- 6 多くの者は言っています。
「だれがわれわれに
良い目を見させてくれるのか」と。
主よ どうか あなたの御顔の光を
私たちの上に照らしてください。
- 7 あなたは喜びを私の心に下さいます。
それは 彼らに穀物（こくもつ）と新しいぶどう酒が
豊かにある時にもまさっています。
- 8 平安のうちに私は身を横たえ
すぐ眠りにつきます。
主よ ただあなただけが
安らかに 私を住まわせてくださいます。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ルカの福音書 1章 5～25節

- 5 ユダヤの王ヘロデの時代に、アビヤの組の者でザカリヤという名の祭司がいた。彼の妻はアロンの子孫で、名をエリサベツといった。
- 6 二人とも神の前に正しい人で、主のすべての命令と掟を落度なく行っていた。
- 7 しかし、彼らには子がいなかった。エリサベツが不妊だったからである。また、二人ともすでに年をとっていた。
- 8 さてザカリヤは、自分の組が当番で、神の前で祭司の務めをしていたとき、
- 9 祭司職の慣習によってくじを引いたところ、主の神殿に入って香をたくことになった。
- 10 彼が香をたく間、外では大勢の民がみな祈っていた。
- 11 すると、主の使いが彼に現れて、香の祭壇の右に立った。
- 12 これを見たザカリヤは取り乱し、恐怖に襲われた。
- 13 御使いは彼に言った。「恐れることはありません、ザカリヤ。あなたの願いが聞き入れられたのです。あなたの妻エリサベツは、あなたに男の子を産みます。その名をヨハネとつけなさい。
- 14 その子はあなたにとって、あふれるばかりの喜びとなり、多くの人もその誕生を喜びます。
- 15 その子は主の御前に大なる者となるからです。彼はぶどう酒や強い酒を決して飲まず、まだ母の胎にいるときから聖霊に満たされ、
- 16 イスラエルの子らの多くを、彼らの神である主に立ち返らせます。
- 17 彼はエリヤの霊と力で、主に先立って歩みます。父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者たちを義人の思いに立ち返らせて、主のために、整えられた民を用意します。」

- 18 ザカリヤは御使いに言った。「私はそのようなことを、何によって知ることができるのでしょうか。この私は年寄りですし、妻ももう年をとっています。」
- 19 御使いは彼に答えた。「この私は神の前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この良い知らせを伝えるために遣わされたのです。」
- 20 見なさい。これらのことが起こる日まで、あなたは口がきけなくなり、話せなくなります。その時が来れば実現する私のことばを、あなたが信じなかったからです。」
- 21 民はザカリヤを待っていたが、神殿で手間取っているの、不思議に思っていた。
- 22 やがて彼は出て来たが、彼らに話をするのができなかった。それで、彼が神殿で幻を見たことが分かった。ザカリヤは彼らに合図をするだけで、口がきけないままであった。
- 23 やがて務めの期間が終わり、彼は自分の家に帰った。
- 24,25 しばらくして、妻エリサベツは身ごもった。そして、「主は今このようにして私に目を留め、人々の間から私の恥を取り除いてくださいました」と言い、五か月の間、安静にしていた。

■久しく待ちにし（1， 2， 4 節）（新聖歌 6 8）

- ①久しく待ちにし 主よ とく きたりて
み民の なわめを 解き放ちたまえ
- ※主よ 主よ み民を 救わせたまえや
- ②あしたの星なる 主よ とく きたりて
おぐらき この世に みひかりをたまえ
- ④ちからの君なる 主よ とく きたりて
輝く みくらに とわに つきたまえ

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン